

2016 年度 事業報告書

【概要と成果】

平成 28 年度は、昨年度に引き続き、和歌山県における市民公益活動を支える様々なプログラムを実施した。

昨年度より継続実施している印南まちづくり基金については、3 回目となる助成を実施した。助成の贈呈式に併せて、過去の助成団体からの事業報告会を初めて開催した。チャレンジファンドについては、今年度は申請団体がなかったが、子ども未来基金については、子ども、子育て分野の活動団体のリストアップや取材を行い、ブックレットの制作を進めた。その他、全国コミュニティ財団の全国会議に参加し、コミュニティ財団のガイドライン策定に参画した。京都地域創造基金との業務連携による事務局運営および寄付者管理の効率化の推進や事務局職員を新たに募集するなどの機能強化・寄付募集体制の充実に努めている。寄付募集に関して、和歌山盲ろう者友の会、いきいき和歌山がんサポート等 6 団体から相談を受けた。

次年度は、印南まちづくり基金活用において印南町と町制 60 周年事業を協働で実施し、町民のまちづくり活動への参画を促進する。また、市民コミュニティ財団として、より認知度の向上を目指し、継続的な事業実施のため、引き続きファンドレイジングの強化、事務局のより効率的な運営を進めていく。

■ 資金仲介についての成果 数値寄付・助成プログラムの成果

平成 28 年度は、**5,098,300 円**（前年度比 **1,306,671 円増**）の寄付をもとに市民公益活動を支え、地域課題解決に貢献することができた。

- ・ 地域・テーマ別基金での助成：**1,600,431 円**（**3 事業**）

各助成プログラムと基金への寄付額のうち 10-30%程度（事業による）と財団運営への寄付はそれぞれの助成プログラムや寄付募集の費用としても活用。